

第4回定例会

・一般質問③

総務福祉・産業文教常任委員会の現地調査（11月30日・12月1日）の報告が第4回定例会において行われました。

議会ニュース

安心ハウス完成

委員会レポート



11月30日、定例会に向けた所管事務調査を終了後、現地調査を実施いたしました。今回の現地調査では、平成29年度の事業執行状況を主眼に、若佐歯科診療所、特別養護老人ホーム愛の園、老人福祉センターを調査し、高齢者福祉住宅 安心ハウスについては、産業文教常任委員と合同で調査を行いました。

新築された安心ハウスを視察

総務福祉 常任委員会

29年11月、30年1月

若佐歯科診療所は、平成22年に旧若佐診療所を改築、移転し診療しておりますが、従来から使用しているX線診断装置の老朽化により、今年度新たにパノラマX線診断装置が導入されました。この診断装置は、難易度の高い虫歯治療において、低被曝で3D立体映像が撮影でき

愛の園については、暖房設備が更新、施設に入った途端に暖かさが感じられ、高齢の入居者に住みよい居住環境になったと言えます。また、煙突断熱材にアスベストが含まれていたため、除去工事をしたところです。愛の園は昭和50年の建設以来、増改築を経て、終のすみかとして入居者が安心して過ごせるよう運営されておりますが、今後とも適切な維持管理を望むものであります。



安心ハウスの居室はバリアフリー

安心ハウスについては、郊外に住み、買い物や除雪作業など生活に支障をきたす独居老人が、低所得でも入居できる1棟6戸の集合住宅として建設されましたが、クリニックさるまに隣接し、更に老人福祉センターに近く、買い物等にも困らない場所であると思われま



但木早苗 議員

新年度から導入の国保事業の都道府県単位化による町民への影響について

町民1人当たりの保険料はどうか試算され、内容はいつごろ周知されるのか伺います。

【答弁】(町長)

税額試算は現在行っておりません。2月上旬に北海道からの30年度納付金の確定額を受け、5月下旬開催予定の国保運営協議会において税率改正案の承諾、6月第2回定例会で条例等改正案の提案を行うよう準備を進めています。

「国保事業の都道府県単位化」平成30年度から都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体となり、安定的・効率的な財政運営により、制度の安定化を目指す改革。

国民健康保険割増の改正 町民への影響への影響は

町長：…保険税の上昇を 激変緩和措置により抑える

国が示している激変緩和措置の内容と、町民への影響について伺います。

【答弁】(町長)

1つ目は、納付金額を決定する際、一定の範囲内で激変を生じにくくする措置を用いること。2つ目は、都道府県繰入金認められています。3つ目は、激変緩和用として積み立てている特別基金を計画的に運用することです。これらの措置により納付金額が抑えられ、保険料も抑えらるものと考えています。

町独自の子育て世帯への軽減策について、考えはあるのか伺います。

介護保険事業について

改正介護保険法により、介護利用負担の引き上げなど内容見直しとなっておりますが、新年度から始まる第7期介護保険事業へも影響することと聞かれます。そこで、介護保険料の引き上げはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

65歳以上の保険料上昇が懸念されていますが、社会保障

審議会でもデイサービスなどの報酬引き下げが議論されており、この動向によっては据え置くことも考えられます。

【質問】

介護給付の削減を目的とした在宅介護の推進について町としての考えを伺います。

【答弁】(町長)

医療連携や認知症対策により、住み慣れた地域で生活を送ることで、給付費の抑制にもつながると考えています。

# 議会ニュース

- ・増毛町議会が視察来町
- ・議員のひと言

# 議会ニュース

- ・委員会レポート

## 産業文教 常任委員会

### 新規担い手宿泊研修 施設を視察

12月1日、定例会に向けた所管事務調査を終了後、現地調査を実施いたしました。今回の現地調査は、平成29年度の事業執行状況を主眼に、富丘の六戸牧場、農業新規担い手宿泊研修施設、佐呂間中学校、町立図書館の調査を実施いたしました。

六戸牧場については、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用し、搾乳ロボットを配備したフリーストール牛舎を整備し、今年4月から稼動しております。今回整備した牛舎は、ロボットによる搾乳や、乳成分値から牛の状態を読み取れるなど、効率よく牛の管理ができるもので、施設を有効活用し、牧場が目標としている生乳出荷2500トンを目指して、町の酪農発展に貢献してほしいと願います。



家財道具一式が揃っているほーぷすたーサロマ

農業新規担い手宿泊研修施設については、農協が実施主体として、町農業新規担い手確保支援対策事業補助金を活用し、宿泊施設を建設したものです。町内に体験実習に來た方を対象として、農業体験1週間、農業実習1ヶ月、新規就農3年間などの利用期間を設定しており、長期滞在の場合も、施設管理料と光熱水費の負担があるとのこと。施設は1棟4戸で1DK、バス、トイレ、エアコン、ベッド、テレビ、炊飯器も完備されており、後は着替えなどを持参すれば、すぐに生活できるようになっています。

農協の鈴鹿組合長から、農業研修に限らず佐呂間町を体験してもらうために活用してほしいとお話しもあり、後継者が不足している本町において、町の農業発展のみならず、将来の本町の活性化に繋がることを期待いたします。

佐呂間中学校については、今年度ICT教育環境整備事業として、視聴覚室に生徒用のパソコン44台と、教師用のタブレット4台、職員室にパソコン15台、教室に映写用プロジェクター等が整備されました。

映写用プロジェクターは、授業で映像を映し出し、拡大や文字書きなどが簡単にでき、黒板と比べ効率の良い授業ができるとのこと。また、視聴覚室では生徒全員がパソコンを使用し授業を行います。教師のパソコンで、生徒一人ひとりの画面を確認できるとのこと。

調査時、生徒たちは12月の父兄参観日で発表する、グループでの研究発表の課題に取り組んでいる最中で、今後においても活用していただきたいと考えます。



館長から新しい図書館システムの説明を受ける

町立図書館については、今年度、絵本コーナーの本棚と図書館システムが更新されました。絵本コーナーでは、一部を除いてカラーボックスを使用しており、地震発生の場合は崩れる危険性がありました。が、木製の頑丈な本棚が設置されたことで、安心して絵本を読むことができるスペースとなりました。また、図書館システムについては、蔵書管理のみならず、町民にとってモバイルネットワークでの蔵書検索、読書履歴の管理や、子供向け図書検索など、利便性の向上が図られたものになっています。

## 議会運営委員会

### 第4回定例会運営について協議を進める

12月12日及び14日、第4回定例会にかかる提出議案等についての協議を行いました。

## 町立診療所に 関する特別委員会

### クリニックさろまの 運営状況を聞く

11月30日、クリニックさろまに導入する健診システムと、それを用いた健診事業の概要説明を受けました。システムの効率的な運用により、健診受診者の拡大と、町民の健康増進が期待できることとです。

また、平成29年度の患者数の推移について、外来患者数が増えているとの報告を受けました。医師2名による診療体制が、町民の信頼を得ている結果であり、今後とも安定した運営を願っています。

## 議会活性化等 特別委員会

### 改選後の活性化の 取り組み方針を確認

11月16日、改選後初となる特別委員会では、今後の議会活性化の取り組み方針について協議しました。

本町議会では、議会の活性化の取り組みをルール化する

## 増毛町議会が 視察来町

### 特別養護老人ホーム 運営について学ぶ

11月8日、留萌管内増毛町議会の産業厚生常任委員ら9名が来町し、特別養護老人ホーム愛の園の運営状況について、議長、町長、櫻井園長らに対応しました。

増毛町においても町立の特別養護老人ホームの運営の方向性を見極めるた



櫻井園長の説明に耳を傾ける増毛町議会一行

め、当町の特養運営の実態を学ぶとともに、愛の園の施設内を視察されました。

## 議員のひと言

### 原風景

年も改まったある日、幼児からお年寄りまでが集う行事に参加させて頂きました。

おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんも慣れた手つきで串焼き、たこ焼きを作っている姿を、また子供達の嬉々とした笑顔を見る時、自分が子供の時の楽しい時空間に引き戻される感覚を味わいました。

時代が変わっても流れ続く、地域で子供達を見守り育む姿に、こころ良い時間を過ごすことが出来ました。これからも続いて欲しいし、参加しなければならぬとの想いを強くしました。

新しい物には好奇心が行くこの頃、長い間守り続けられるべき物も沢山ある事に気付かされ、空を見上げるばかりではなく、足元を見つめる目も持ち、一歩一歩進んでいかなければならないと人生を振り返り、想いを新たにしている今日この頃です。

(山内一弘)